

価値観の多様化の中で、 葬祭儀礼文化を守る 地域葬祭業の役割



特別
座談会

撮影協力・一番町 メゾンド リア・フィール

東日本大震災当時、宮城県葬祭業協同組合は県との災害協定に基づき、組合員一丸となって未曾有とも言える事態に対応、葬祭業の地域インフラ組織としての存在感を高めた。

一方、ここ数年は小家族化に加え、価値観の多様化などで葬儀自体が大きく変化している。日本的葬祭儀礼文化をどのように継承・変革し、さらにどう発展させていくべきか、地域葬祭業の役割も踏まえ、宮城県葬祭業協同組合の皆さまに語ってもらった。

	参加者
理事長	菅原 裕典 氏 (株式会社清月記 社長)
総務企画委員会委員長	金子 隆史 氏 (有限会社かねこ 社長)
教育情報委員会委員長	北川 宏道 氏 (株式会社北川 社長)
事業開発委員会委員長	大友 浩幸 氏 (有限会社大友葬儀社 社長)
お葬式相談員特別 プロジェクト委員長	渡辺 由之 氏 (有限会社渡源 社長)
HP委員会委員長(青年部部長)	日下 利治 氏 (株式会社くさかや 常務)
顧問	渡辺 進也 氏 (中小企業診断士)

**組合員一丸となって取り組んだ
東日本大震災時の対応**

北川 宮城県葬祭業協同組合は、宮城県内の地域葬祭業が一つの組織の基に、高品質の葬祭サービスの提供とお客様に選んでいただける会社づくりを目標として昭和57年に発足、まもなく40年になります。組合員数は現在42社です。この歴史の中で大きな出来事は、やはり東日本大震災です。各社も被災した中で、当時の倉島義彦、日下覚実理事長を中心に菅原裕典現理事長が災害対策本部長として、ご遺体のお引き取りなどに全力で対応しました。大友さんは、いかがでしたか。

大友 震災早朝、岩沼市の対策本部

地域葬祭業の役割



菅原裕典氏

で、市長直々の特命をいただき、私はそのとき、とにかくプロの私に任せてくれと言いました。首長から直接連絡をいただいたのが、大きな混乱もなく進められた要因だと思えました。

渡辺(由) 仙台の葛岡斎場では、電話受付がままならないため、夜中に火葬場の門の前で並び、車中泊をして朝に門が開いたら入るということを、毎日繰り返していました。

日下 ご遺体が日に日に増え、納棺前に歯型採取する歯科医が足りなかったり、自衛隊が夜に運んで来るドライアイスが、翌朝には溶けていたり、手間取りました。また沿岸部では火葬が間に合わないためやむなく土葬を行った後に、ご遺族から火葬ができるようになったからお願いたしたいと言われ、対応が大変だったと聞いています。

菅原 大震災時の対応がうまく進んだのは、大友さんの、俺に任せてくれという言葉に尽きます。現場の様々な場面で、社員は相当精神的強さが求められました。仕事ができなくなったという者はおられません。警察でのご遺体の対応など、さまざまな経験を経ていたからこそ、この未曾有の大震災を乗り越えられました。先輩たちが、栗石や御巢鷹山航空機事故などの時に、



金子隆史氏

霊柩という形で現地に入っていた経験が、大震災時の対応を可能にした。普通にお亡くなりになった方も、泥にまみれて亡くなった方も同じように弔いをしなければいけないという職業観を我々は常に持っているからです。

東日本大震災の教訓は、やはり備えあれば、ということ。阪神淡路大

目線は「ご家族」と「地域社会」に

北川 ところで葬祭儀礼への関心が、最近薄らいでいるように思います。私の実家は曹洞宗の寺院で、幼い頃から宗教儀礼は当たり前と思っていました。しかし、父親が亡くなって感じたのは、お葬式の必要性をさらに強く思うようになったことです。コロナ禍で出来るだけ少人数でというご遺族も増えていますが、心のけじめという意味合いにおいて、きちんとしたお別れをする場の必要性は不変だと思います。

大友 今は結婚式もやらない時代になり、葬式の様式などにも影響しています。宗教的儀礼とは別な話で、お葬式は、きちんとしてやるべきです。お葬式は、亡くなった人をご遺族が守っていくということをお知らせし、これから生きていく方々をみんなで応援しようという



北川宏道氏

震災の時、現地で得た経験が、全国初の県との災害協定に繋がって行くのです。棺などを我々で対応できたので、外部の大手葬祭企業が入って来ませんでした。大手が入ると全部仕切られ、あのときは地元の葬儀屋さん何もできなかったよね、という話にまでなるのです。

うのがお葬式です。私は、「村八分の残りの二分は火事と葬式」だと教えられてきました。村八分された家でも、火事と葬式のときは、手伝わなくちゃいけないと昔から伝えられました。

日下 今は、生活様式の中で宗教的部分はほとんど関係なくなっている。暖かく見送ってあげるというすぐ便利な言葉でひとくりにすると、宗教的概念は必要なくなりました。

高橋 高校生にお布施について聞いたことがあります。お寺さんはお葬式をするためだけのものとしか意識していません。お寺にお金を払うということがなかなか現実感がないのです。宗教的な意味合いが家庭内で伝わっておらず、それと一緒に宗教的概念も家庭から置き去りになってしまっている、同時に

お葬式ができることをお伝えします。**菅原** お客様はさまざまです。例えば、10000円の時計で十分の人、100万円の時計を着けることに強い思いがある人もいます。私ももリーズナブルな金額からハイグレードの商品まで揃えています。5人しか参列しないが、一番ハイグレードのものをというご要望もあります。当社でも、それを実現できるように誠心誠意、取り組んでいます。

お葬式ができることをお伝えします。**菅原** お客様はさまざまです。例えば、10000円の時計で十分の人、100万円の時計を着けることに強い思いがある人もいます。私ももリーズナブルな金額からハイグレードの商品まで揃えています。5人しか参列しないが、一番ハイグレードのものをというご要望もあります。当社でも、それを実現できるように誠心誠意、取り組んでいます。

お葬式ができることをお伝えします。**菅原** お客様はさまざまです。例えば、10000円の時計で十分の人、100万円の時計を着けることに強い思いがある人もいます。私ももリーズナブルな金額からハイグレードの商品まで揃えています。5人しか参列しないが、一番ハイグレードのものをというご要望もあります。当社でも、それを実現できるように誠心誠意、取り組んでいます。

お葬式ができることをお伝えします。**菅原** お客様はさまざまです。例えば、10000円の時計で十分の人、100万円の時計を着けることに強い思いがある人もいます。私ももリーズナブルな金額からハイグレードの商品まで揃えています。5人しか参列しないが、一番ハイグレードのものをというご要望もあります。当社でも、それを実現できるように誠心誠意、取り組んでいます。

お葬式ができることをお伝えします。**菅原** お客様はさまざまです。例えば、10000円の時計で十分の人、100万円の時計を着けることに強い思いがある人もいます。私ももリーズナブルな金額からハイグレードの商品まで揃えています。5人しか参列しないが、一番ハイグレードのものをというご要望もあります。当社でも、それを実現できるように誠心誠意、取り組んでいます。



日下利治氏



渡辺進也氏

葬儀の意味も分からなくなっています。**菅原** たしかにそうですね。お布施に対して、さまざまな誤解も生じていると思います。

葬祭業は地域コミュニティの役割。大きい経済波及効果も

渡辺(進) 目先の情報から葬儀の意義を知らずに簡略化・省略を選択する方も増えていきます。しかしご遺族は、葬儀でお別れのけじめをつけ、終われば普通の生活に戻らなければなりません。私の父が亡くなったとき、今後は家を継ぐ者ですと私がお披露目された後、だいぶ助けていたいただいた経験があります。また葬祭には、地域コミュニティの役割があります。地域の方やご親戚と交流できる大きな機会です。そして飲食、会場、運行、引き出物、生花など他業種への経済波及効果が大きく、影響力のある重要な業種です。

金子 日本では、宗教と生活が密着しておらず、教育のなかでも宗教儀礼を教えない、分らないまま社会人となり、大人になってもその情報に触れない方が多い。そこに、いざ葬儀と言われてもなかなか考えられませんが、葬祭儀礼文化の役割を考えると、私たちが葬祭業が、宗教儀礼や宗教にかかわる地域の風習なども取り入れ、お別れに対する考え方などをお伝えして行かないといけないと思います。

北川 各社が大事にしているポイントを紹介して下さい。

私は、お客さまのお気持ちをどのように担当が感じ取れるかということに力を入れています。会社では、わざとニコニコしたり機嫌悪そうにした

大友 組合は、さまざまな組織と話し合いができ、県の震災追悼式など共同受注できるケースが多くなってきました。より力を入れていきます。**金子** 理事会や理事長の伝えたいこと、知識をできるだけ組合員全員が共有できる組織にすべく活動します。

北川 経営者、社員向け研修会など織り交ぜてやっていますが、時代に合ったオンライン研修も検討します。**渡辺(進)** 同業者が経営ノウハウを共有するなど連携ができること、意義深いことです。共通目的を設定、公としての組合活動を推進し業界が盛り上がることはモデル的な取り組みです。

菅原 目標は、地元葬祭業が力強く、脈々と生き延びていくことです。みんなが潤えば、一番得るのは地域生活者です。組合のネットワークで連携情報交換しながらPRしていくことです。そして組合の安心ブランドをもっと創り上げていきたいと思っています。

女川 震災復興が成功したのは「還暦以上の人間は口出すな」とやったからです。若い世代の人たちの発想は違います。町を高台に造ったり、高い防潮堤にしなかったり、人が集まる工夫は女川がピカイチです。当組合も若い世代の方々の台頭に期待しています。

地域葬祭業の役割



大友浩幸氏

りいろいろ変え、社員に対応力を身につけてもらおうとしています。どうアプローチしてくるか楽しみなのです。**大友** 満足度がテーマです。当社の霊柩車はドライバー以外お1人しか乗れないので、火葬場に行く途中いろんな話をしながら、泣いたり笑ったりしながら行き、それが悲しみを和らげてくれます。

地域葬祭業ならではの情報量とフットワークの良さ

渡辺(由) 地域の葬祭業ならではの情報量とフットワークの良さです。住職さまの性格などもよく存じ上げていきます。お寺さんからアドバイスができます。お寺さんから言わせると、大手は担当者が変わるから何度同じことを言っても駄目だそうです。喪主さまとお寺さんと葬祭業、この三角形を大事に保ちながらやっていくのが地域葬祭業の特色ではないでしょうか。

日下 社は「感動、感謝、共感」と「地域社会における家族文化伝承に貢献すること」です。お客さまのご要望に全力で応えられる葬儀社であり、社長からよく言われますが、ご家族の心が、最大限に故人に向けられたときに葬送儀礼は完結し、それが達



渡辺由之氏

成されたときにご遺族の平穏と満足が得られるというような考え方でやっています。葬送儀礼そのものがそのご家族の文化の伝承に繋がります。目線はご家族と地域社会です。**金子** 最終的に故人に対してありがとう、逆に故人からもありがとうと言ってくれている、そうした気持ちをご遺族さまに持っていただけです。当社では今、「送る心」ではなく、「送る形」にしており、どのような形でも

新しい発想の若い世代に期待

北川 これからの組合事業や姿勢などについてお話しください。

菅原 人が死を迎えたときの儀礼を行うのが我々の仕事です。ですから、しっかりとした倫理観と自信を持ち、その家の仕切りをちゃんと組み立てられるよう、葬祭ディレクターの教育に力を入れていかないとけません。そのためには100人いれば100通りのお葬式を考える引き出しをいっぱい持つこと。究極のサービス業である葬祭業のディレクターをやったら、どんな仕事にも関わります。

ご葬儀は高貴な仕事で、最大の儀礼文化です。私たちの先輩たちは、見下